

青少年相談センターだより

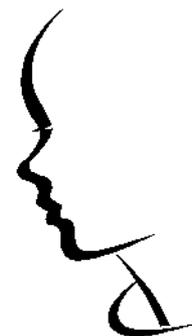
富士市青少年相談センター

静岡県富士市八代町1番1号 富士市教育プラザ内

電話<0545>52-4152

FAX <0545>52-3737

令和7年度 第1号



「ステップスクール・ふじ」の新たな試み

富士市青少年相談センター 所長 田中 亘

現在、富士市の小中学生数は減少傾向にある一方、不登校児童生徒数はむしろ増加しています。特に、小学校で急増しており、「不登校の低年齢化」が顕著になっています。原因は様々な要因があるため、はっきりしません。不登校児童生徒のうち、公共の教育支援センターである「ステップスクール・ふじ」や他の民間施設や団体等を利用している子どもたちを除くと、大人数の子どもがどこにも行かず、家で過ごしていると思われます。この子どもたちを家の外に出し、社会や人とつなげることが重要だと考えています。人とつながることは楽しいですし、人とつながることで学ぶことができます。日々、子どもたちやご家族と向き合う中で強く感じていることですが、居場所とは結局、人ではないかと考えています。「あそこに行けば、あの人に会える」という存在が、居場所になるように思います。家庭・学校・クラブなども人が居場所をつくります。「人がつながれば、絆がつながり、未来がつながる」と信じています。「ステップスクール・ふじ」も子どもたちの居場所となることが一番の目的です。

さて、「ステップスクール・ふじ」では、「不登校の低年齢化」や「子どもの多様化」を考慮し、新しい試みに挑戦することにしました。それは、「小学生への配慮」と「自己決定の尊重」です。今までの「ステップスクール・ふじ」は、小学生と中学生が同じ部屋で活動していましたが、今年度から小学生と中学生の活動場所を分け、学習や過ごし方を子ども自身が選べる新しい試みを始めました。子どもたちは、ほっとスペース(左右をついたてで囲った個人の席)、はばたきルーム(教室のような部屋)、ふれあいルーム(パズルやパソコン、創作活動等好きなことができる小学生の部屋)、ひらめきルーム(個別に教わりながら勉強を進められる部屋)の4つの部屋から活動場所を選択できるようにしました。「ステップスクール・ふじ」が、子どもたちにとって、「ここに居たい」と思える場所を目指しています。

また、昨年度は年4回実施した保護者教室ですが、本年度は毎月第4金曜日(12月のみ第3金曜日)に開催することとしました。不登校や登校渋滞のお子さんを抱えた保護者のみなさんは、親として負い目を感じたり、自分を責めたりして、孤立しがちです。同じ問題を抱えた方が集まって、悩みや不安を共有したり、情報交換することで、気持ちが楽になったり、一歩前に進む勇気をもたらすことができると嬉しいです。事前の予約は必要ありません。当日、午後1時30分に教育プラザに足を運んでいただければ幸いです。

これからみなさんとともに、子どもたちの成長を支え、温かな居場所づくりを進めていきます。

職員紹介

所 長：田中 亘
 統括主幹：鈴木 弘之
 主 査：市川 由美恵
 主任相談員：松永 正之
 青少年相談員：関 美千代、前島 英喜、竹内 勉
 青少年育成員：遠藤 勝秋
 青少年指導員：竹田 文美、山本 美佐枝
 青少年相談員：佐野 倫子、石川 須美子
 学校サポート支援員：武井 幸治、守谷 実
 業務補助員：松田 敏明

「ステップスクール・ふじ」

令和6年度利用者の状況

小学生		23人
中学生	(1年生)	(25人)
	(2年生)	(22人)
	(3年生)	(17人)
小計		64人
利用児童生徒数 合計		87人

《S63開設》

令和6年度「ほっとテレフォン・ふじ」相談件数

【S57. 7. 29開設】

曜日別

	月	火	水	木	金	合計
件数	16	24	12	13	27	92
日数	42	50	51	50	50	243
平均	0.38	0.48	0.24	0.26	0.54	0.38

通話時間別

時間	10分以内	10超～20分	20超～30分	30分超	合計
件数	84	6	2	0	92
内無言	66	0	0	0	66

学識別、内容別

	小学生	中学生	高校生	他学生	有職	無職	保護者	祖父母	一般	層不明	合計
A. 学校生活	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
B. 対人関係	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0	3
C. 進路適性	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
D. 不登校	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	4
E. 心身発達	0	0	6	1	0	0	2	0	0	1	10
F. 無言	0	0	0	1	0	0	0	0	0	65	66
G. その他	0	0	1	0	0	0	1	0	2	3	7
合計	0	1	9	2	0	0	8	1	2	69	92

☒ メール相談
受信件数0件

「ホッとデジタル相談・ふじ」相談件数

《R5. 2月開始》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R 6 (件)	10	66	88	72	34	48	67	62	61	50	51	40	649
R 5 (件)	12	76	101	103	37	59	74	76	72	56	62	45	773

令和6年度 青少年指導委員による補導活動

《S42開始》

区 分	回数	参加人数	声掛け
通常補導（地区巡回）	306回	1,007人	51件
祭典補導 （祇園祭・富士まつり・甲子秋まつり・毘沙門天大祭）	4回	101人	4件
補導連絡協議会	5回	217人	—
合 計	315回	1,325人	55件

各地区から推薦された青少年指導委員114名で補導活動を行った。補導の際には、小中学校との情報交換等の機会を設け、子どもたちの状況把握に努めた。
※青少年指導委員会は令和6年3月解散
青少年指導委員活動は継続

愛称「ココ☆カラ」の名称の由来

今まで、誰にも言えない悩みを抱えたり、様々な理由により辛い思いをしてきたりした若者が、この窓口（ココ）から、ココロとカラダを元気にして、羽ばたいてほしいという願いを込めて名付けた。

若者相談窓口「ココ☆カラ」実績データ

《H27開設》

年度	相談			伴走支援（件）	アウトリーチ		居場所支援（人）	就労（件）	家族会（人）	フォローアップ（人）	合同相談会		若者サポーター養成講座（人）
	新規（件）	継続（件）	計（件）		人数（人）	回数（回）					8月17日（土）	2月15日（土）	
令和6年度	91	899	990	466	61	298	2,731	39	107	127	84組 157人	64組 115人	83

若者サポーター養成講座

R6.7.6（土） 41

R7.1.11（土） 42

6月～8月の行事予定

6月	7月	8月
2(月) 事例研修	1(火) 進路説明会	5(火) 臨床心理士来所相談
3(火) 青少年相談センター運営協議会 臨床心理士来所相談	4(金) 体験学習（カレーづくり） 臨床心理士来所相談	22(金) 夏季休業終了 保護者教室
11(水) ものづくり講座①	5(土) サポーター養成講座	23(土) 合同相談会
14(土) 吉原祇園祭祭典補導～15(日) 家族会・フォローアップミーティング	7(月) 補導連絡協議会	26(火) 臨床心理士来所相談
16(月) 事例研修	8(火) 不登校対策連絡会	29(金) 子ども・若者支援協議会
17(火) 臨床心理士来所相談	18(金) 県内一斉補導	
27(金) 保護者教室	22(火) 夏季休業開始 保護者希望面談	
	25(金) 保護者教室	
	27(日) 富士まつり祭典補導	
	29(火) 臨床心理士来所相談	

～青少年相談センターはこんな仕事をしています～

1 青少年相談事業

【面談・相談】

- 学校生活や進路に関すること
- 不登校に関すること
- いじめや友人関係に関すること
- 養育や生活態度・性格に関すること
- 非行や性の悩みに関すること
- その他青少年に関すること

《受付時間》9:00～16:00

(土日祝・年末年始を除く)

事前に相談センターに申し込んでください。

【ステップスクール・ふじ】《S63開設》

不登校児童生徒に時間と場所を提供し、一人一人に応じた支援を進める中で、児童生徒が自らの進路を主体的に捉えて、社会的に自立していくための支援をしています。

《利用時間》8:00～18:00

- 学習○体験学習○創作活動
- スポーツ○保護者懇談会 など

【電話相談】《S63開設》

学校生活や友人関係、進路、非行や不登校等、青少年に関する電話相談やメール相談

「ほっとテレフォン・ふじ」

9:30～16:30(土日祝・年末年始を除く)

電話 0545(51)3741 またはメールで

e-mail: ky-soudan@div.city.fuji.shizuoka.jp

【ほっとデジタル相談・ふじ】(令和5年2月1日開始)
小中学校の全児童生徒に配付しているタブレットを利用した相談ツールで時間と場所を気にせず、困りごとなどを相談できます。

【臨床心理士来所相談】《H14開始》

月2～3回臨床心理士の先生に、子育てや発達についての悩みを相談することができます。予約制ですので、日程及び申し込みについては、青少年相談センターまでお問合せください。

【保護者教室】

お子さんが学校に行くことができずにいる保護者のみなさんが集まって、悩みや不安を共有したり、情報交換をしたりする会です。

原則、毎月第4金曜、12月のみ第3金曜

詳細は青少年相談センターまでお問合せください。

2 青少年非行防止事業

- 青少年指導委員による補導活動《S42から》
 - 青少年健全育成活動
 - 環境浄化活動
- 3つの活動により青少年の周辺環境を守ります。

3 子ども・若者育成支援事業

【富士市若者相談窓口「ココ☆カラ」】《H27開設》

概ね中学校卒業から39歳までの、ニート、ひきこもり、不登校など社会生活に困難を抱える若者とそのご家族の支援を行っています。
《受付時間》9:00～17:00(火～土曜日)
(祝日・年末年始を除く)

住所 富士市八代町1番1号
富士市教育プラザ内

電話 0545(55)0562

e-mail: f-wakamono@chive.ocn.ne.jp

富士市青少年相談センター

住所 富士市八代町1番1号
富士市教育プラザ内

電話 0545(52)4152

FAX 0545(52)3737

e-mail: ky-soudan@div.city.fuji.shizuoka.jp

- 岳南電車ジャトコ前駅から徒歩2分
- 富士警察署北側